

2022—2023年度
国際ロータリーテーマ



第2730地区 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

事務局・例会場 ホテルレクストン鹿児島 2022-2023年度
〒892-0844 鹿児島市山之口町4-16 4A
TEL 090-5295-2736
FAX 099-210-7887
例会日 1ヶ月3回 木曜日 12:30~13:30
Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2730地区ガバナー 山ノ内 文治
鹿児島市内ガバナー補佐 Aグループ 上野 欣一
Bグループ 宮内 秀人

会長 水流純大
会長エレクト 小川ちえみ
幹事 森迫直子
編集 会報・広報委員会
HP <https://ksw-rc.org>

第1136回例会 2022年(令和4年)7月21日(木) 本日のプログラム「クラブ協議会(年間活動計画、決算・予算報告)」VOL.27-2

前回第1135回例会(7/7(木))の報告 於: ホテルレクストン

【幹事報告】 幹事 森迫直子

- ①ロータリーの友、ガバナー月信、7月号が届いていますのでお持ち帰り下さい。
- ②本日、例会後に定例理事会を行います。
- ③先月、親睦旅行で別府市に宿泊したのですが、そのホテルが別府東RC会員の経営するホテルだったようで、当クラブの宿泊に対し、過分なおもてなしを受けました。こちらからお礼として、鹿児島の銘菓とバナーを贈ったところ、別府東RCからもお礼状とバナーを頂きましたのでご報告申し上げます。



【ゲスト】 米山奨学生 王家怡さん

【ニコニコBOX】

- ◆水流純大君・森迫直子君
いよいよ新年度が始まりました。皆さん、1年間、どうぞよろしくお願いいたします。
- ◆川原篤雄君
水流・森迫・岩下丸の船出、おめでとうございます。
- ◆西孝一君
本日はお陰様で43回目の開院記念日ですので、感謝の

ニコニコです。

- ◆庄司教克君・夏迫文男君・国師博久君・野元博志君
小川ちえみ君・森山隆治君・池田耕夫君・西孝一君
藤崎克己君・佐藤俊一君・吉時真也君・松田泉君
岩下いづみ君・田中広征君
水流会長、森迫幹事、岩下SAA、就任おめでとうござい
ます。1年間、よろしくお願ひいたします。

《ニコニコBOX累計額 ¥18,000-》

【地区委員 委嘱状の伝達】

- ・川原篤雄・ロータリー米山記念奨学会 評議員/
地区諮問委員会 委員/会員増強部門 部門長
拡大委員会 委員長/ガバナー指名委員会
副委員長/地区研修委員会 副委員長
- ・中村聡・国際奉仕委員会 委員
- ・小川ちえみ・米山記念奨学会部門 副部門長/
米山学友委員会 委員長



《ロータリークイズ》

出題から翌週の水曜日までに答えを事務局に送っていただいた方の中から、**正解率トップ3と全問回答者に豪華商品を差し上げます。**事務局にメール等でお寄せください(グループLINEだと答えがバレバレですよ!!)。正解は次号の週報をご覧ください。

ロータリークイズ NO.1

ロータリーの新年度が7月から始まるのはなぜ?

- ①世界初のシカゴRCの例会が7月だから
- ②ポール・ハリスの誕生日が7月だから
- ③一年の会計監査の締切りが6月だから

2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ 「IMAGINE ROTARY」
第2730地区スローガン「知力を高め 未来に繋げ 多様性あるロータリークラブの実現に」
クラブスローガン 「笑顔輝く明日を創ろう！」

【前年度連続出席者表彰】

前年度連続出席者の紹介、その後、賞状と記念品の贈呈を行いました。

*ホームクラブ (3名)

国師博久君・西孝一君

吉時真也君

*メイクアップ (22名)

安藤秀樹君・藤崎克己君

濱田一郎君・穂満淳君・池田耕夫君・岩下いづみ君

井川良仁君・川原篤雄君・高良次男君・永田優治君

松田泉君・松林秀実君・小川ちえみ君・森迫直子君

森山隆治君・中村聡君・野元博志君・庄司教克君

佐藤俊一君・關紀美代君・水流純大君・井岡松司君



【プログラム】 会長・幹事 就任挨拶

会長挨拶 会長 水流純大

2022~2023年度、鹿児島サザンウインドロータリークラブ第27代会長に就任いたしました水流純大です。

入会6年目の駆け出しロータリアンである私が会長という大役を担うことができるのか、吉時直前会長から打診されたときはかなり悩み、何度かお断りをしましたが、先輩会員の方から「ロータリーの返事にはハイとイエスしかない」と言われ、また、私自身がモットーとしている「蒔かれたところで咲きなさい」の考え方に照らし合わせてお引き受けすることといたしました。この言葉は、元ノートルダム清心女子大学学長の渡辺和子さんの著書『置かれた場所で咲きなさい』のなかで、「Bloom where God has planted you」(直訳すると「神があなたを蒔いたところで花を咲かせなさい」という意味になりますが)とほぼ同じ意味で出てくる言葉です。自分に与えられた役割や仕事に不平や不満を言うことなく誠実に取り組み、そこで成果を出す(つまり花を咲かせる)という意味だと理解しています。花を咲かせられるかどうかは甚だ心もとないところではありますが、お引き受けした以上は役目をしっかりと果たせるよう一所懸命努めてまいりたいと思います。ベテラン会員の森迫幹事と岩下SAAに支えていただきながら、また、会員の皆様のご協力をいただきながらクラブ運営を行っていきたく思いますので1年間どうぞよろしくお願いいたします。



今年度のジェニファー・ジョーンズRI会長は、「IMAGINE ROTARY」(イマジン・ロータリー)をRIテーマに掲げ、「ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リー

ダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」と述べています。

また、会長年度に最も力を入れたいこととして、「DEI」すなわち「Diversity(多様性)」「Equity(公正性)」「Inclusion(包摂)」を挙げ、ロータリーは多様性を尊重し、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、性別志向、性同一性などにかかわらず、さまざまなバックグラウンドの人々への貢献を称えると述べています。

これを受けて国際ロータリー第2730地区の山ノ内文治(ふみはる)ガバナーは、地区スローガンを「知力を高め 未来に繋げ 多様性あるロータリークラブの実現に」とし、多様性を認める社会の実現に向けて未来のロータリアンに夢を繋ぐという思いをこめられました。

RIテーマ、地区スローガンを受けて、今年度のクラブスローガンを「笑顔輝く明日を創ろう」としました。人は自分の人生に満足していたり、自分の生活が充実していると自然に「笑顔」になります。また、人生に夢や希望を持るとき「笑顔が輝き」ます。しかしながら、皆が「笑顔輝く」人生を送れているわけではありません。世界に目を向けると、戦争や飢餓、病気、貧困、水不足などで苦しんでいる人々が数多くいます。日本国内でも、病気や障害、貧困、差別などで苦しんでいる人々も少なくありません。

ロータリーは「奉仕の理念」を具体的に実践することにより、社会の中で困難に直面している人々や多様な属性を持つ人々の「笑顔」を増やすことに尽力しています。私たち鹿児島サザンウインドロータリークラブも奉仕活動を通じて人々の「笑顔輝く明日(未来)を創る」ことに貢献し、またそのことにより会員の笑顔も輝くことを目指して、今年度のスローガンを「笑顔輝く明日を創ろう」といたしました。

このクラブスローガンのもと、クラブ運営の基本方針として、吉時年度との連続性も考慮しながら5つの重点項目を掲げました。

第1の柱は「集(つど)う」です。

この2年半の間、コロナ禍により例会の中止やオンライン例会の開催などを余儀なくされてきましたが、今年度は世の中がウィズコロナに移行していくであろうことを見据えて、例会は原則として集合開催とオンライン配信のハイブリッド開催とし、コロナ感染防止のためやむを得ない場合に限りオンライン開催のみとしたいと思います。会員同士がしっかりと顔を合わせて話をし、情報交換と親睦を深める機会を保障し、やむを得ない事情により会場に来ることができない会員にはオンライン配信により出席の機会を保障する、いわば二刀流開催を原則とします。

第2の柱は「睦(むつ)ぶ」です。

会員相互の親睦を深めるために多くの親睦行事を企画・実施したいと思います。クラブ運営委員会の皆様には楽しい親睦行事を企画運営していただきますようよろしく

第3の柱は「学ぶ」です。

ロータリーを学ぶことは私自身の大きな課題でもあります。会員増強研修委員会の皆様にはロータリー大学等の機会を通じて会員にロータリーを学ぶ機会を提供していただくとともに、会員に地区セミナーや地区大会への参加を促進していきたいと思ひます。

第4の柱は「奉仕する」です。

ロータリーの最も重要な基本理念である「Ideal of Service」（奉仕の理念）を具体的な行動に移さなければなりません。一昨年度のクラブ戦略委員会で、新たなクラブビジョンを「地域のニーズに対応した新たな奉仕活動に取り組める柔軟性のあるクラブ」としました。奉仕プロジェクト委員会の皆様にはWAQWASquareやNPO法人響、愛の聖母園への活動支援等の社会奉仕活動を継続しつつ、地域のニーズに対応した新たな奉仕活動についてご検討いただきたいと思ひます。また、鹿児島純心IACの活動支援等の青少年奉仕、また職業奉仕や国際奉仕等にも取り組んでいただきたいと思ひます。また、ロータリー財団委員会の皆様には、ロータリー財団の年次寄付及び米山記念奨学会の年間寄付目標額を達成するよう会員に働きかけていただきたいと思ひます。

第5の柱は「発信する」です。

公共イメージ委員会の皆様には、クラブの活動をHPやFacebookで発信することはもちろん、マスメディアを活用してロータリーの公共イメージの向上を図るよう努めていただきたいと思ひます。ロータリーの公共イメージを上げることにより、新たな会員の獲得、会員増強につながるものと思ひます。

以上の5つの重点項目は各委員会活動と密接に関連していますが、各委員会の活動目標と年間活動計画は後日配布予定のアッセンブリーに掲載してありますのでそちらを参照していただきたいと思ひます。

次に、当クラブが今年度担当する地区行事としてIM（Intercity Meeting）があります。内容、日程、場所などはまだ未定ですが、今年度のジェニファー・ジョーンズRC会長が最も力を入れたいこととして掲げている「DEI」「Diversity（多様性）」「Equity（公正性）」「Inclusion（包摂）」をテーマとしたIMを企画したいと考えております。山ノ内ガバナー、鹿児島市内RCの上野・宮内両ガバナー補佐及び市内各RCとも連携を図りながら企画案を詰めていきたいと思ひます。運営に関しては会員の皆様のご協力なくしては成り立ちませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度の地区大会は、「70年の出会いから新しいDEI（であい）のあるロータリーが今、ここから始まる・・・」を大会スローガンとして、11月11日～13日に川商ホール及び城山ホテル鹿児島で行われます。地区創立70周年の記念大会ですので、会員の皆様の多数のご参加をお願いいたします。

今年度のガバナー公式訪問は10月20日です。基本的に全会員出席をお願いいたします。例会後のクラブフォーラムでは、「クラブの奉仕への取り組み状況と意識について」「クラブの強みと弱み（クラブが抱えている問題）

について」2名の会員に発表を依頼されておりますので、指名された方はよろしくお願いいたします。

以上、今年度のクラブ運営の基本方針と主な行事、会員の皆様へのお願い等について述べてまいりました。これまでのロータリーのテーマやスローガンには「変化をもたらす」とか「変化への適応」とか「変化」という言葉が使われることが多いようですが、駆け出しロータリアンである私は「何かを変えてやろう」などという大それたことは考えておりません。逆に、ロータリーの活動や行動の意味を一つ一つ確かめながら着実に進んでいきたいと思ひます。そのことがロータリーの学びと実践につながるのではないかと考えています。

最後になりますが、1年間、会員の皆様方のご指導とご協力をいただきますようお願い申し上げます、会長就任のあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございます。



「幹事挨拶」 幹事 森迫直子

このたび、幹事という大役を拝命いたしました。

幹事の事は、いうまでもなくクラブ運営の全般を把握し会長を支えていくことであります。これまで、私は例会出席率もワースト3ぐらいにたぶん入っていたと思ひます。今まで所属していた委員会のことは少しわかりませんが、それ以外のことは何もわからず、またわからうともせず、これまでの歴代会長幹事役員の方々のご苦勞もまたわからず、楽しい時間ばかりを過ごさせていただきました。この場を借りて、今更ながら感謝申し上げます。

このたび、自分がそういう役になり水流会長と今年度の準備をしていく中で、クラブ運営の中身とどうか、お金のことや活動のこととかいろいろなことを始めて知りました。

私が入会したのは、設立12年度で当時の会長は永田会長で、今入会14年目に入りました。今年度、クラブ会員数は43名でスタートします。

会員数も当時から比べると約10名ぐらい減少し、例会会場やクラブ事務所も変わりいろいろな事情が変わってきております。

今年度の予算組をするために、手持ちのアッセンブリーを13年分順次見ながら、今のクラブの財源は決して余裕のあるものではないことも認識しました。

さて、今年度、国際ロータリー会長のジェニファー・ジョーンズ氏は、テーマを「イマジン・ロータリー」とし、DEI（つまり多様性・公平さ、誰も排除されず全員が社会参加する機会をもつこと）を尊重する基本方針をたてました。

そして地区は、国際ロータリーのテーマを推進するために、新しくDEI委員会を設置し、会員基盤の強化やクラブ拡大計画などいくつもの活動計画を打ち立てております。ガバナー月信7月号に今年度の地区基本方針と活動計画が掲載されておりますが、その中でウイズコロ

のルールを明確にする。とありました。

コロナが世界にまん延してからというもの、色々なことが計画通りにいかず、想定外のことが起きたときに、どう対処するか短い時間の中で余儀なく方針変更をしなければなりません。そんなとき、地区の方で一定の基準を決めていただくことはとても助かります。

ここしばらくコロナ禍にあっても、日常が戻ってきた感がありましたが、数日前からまた雲行きが怪しくなってきました。クラブ運営に影響が及ばないか内心心配です。

話はもとにもどりますが、さきほど話しました国際ロータリーのテーマ、私は、このテーマを耳にしたとき水流会長はまさにこのテーマにおいてクラブ会長として適任者ではないかと感じました。

水流会長は、会員になった頃より卓話などで機会あるごとに、障害者の社会における共生ということをはなされて、このことはまさに国際ロータリーも目指す社会でもあると思ひます。

水流会長は、今年度のクラブスローガンを「笑顔輝く明日を創ろう」と決めました。奉仕活動を通じて人々の「笑顔輝く明日（つまり未来）を創る」ことに貢献し、またそのことにより会員の笑顔も輝くことをめざしたいという願いが込められています。水流会長の思いを実現するためには、私はまず何をすべきかと自分自身に問いました。

思いついた事は、会員の皆が楽しいと感じられるクラブの雰囲気になければと、まずは自分が眉間にしわ寄せた顔をせずポジティブに楽しくやっつこうと思ひました。考え事をすると、つい眉間にしわ寄せたぶつちよう面になるので、そうならなければ注意してください。

これから1年間、幹事として会長を支えていく立場ではありますが、私自身がロータリーを勉強する年であり、ロータリーを実践し、ロータリーと関わりを持たせていただく一年だと思ひております。

皆様に教を乞うことや、不慣れな部分もたくさんありますが、お力添えをいただきたいと思ひます。新しい気持ちで、クラブ運営のため尽くす覚悟でいます。ご協力、よろしくお願いいたします。



水流会長・森迫幹事
一年間、よろしく
お願いいたします。



次回（第1137回）例会のお知らせ

日時：2022年7月28日（木）12：30～13：30
場所：WEB例会
プログラム：クラブ協議会（地区委員）

この後の8月のプログラム

- 8/4（木）クラブフォーラム（会員増強研修委員会）
- 8/18（木）会員卓話
- 8/25（木）外部卓話

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第1135回7月7日（木）	43（41）	31	75.61

市内他RC例会プログラム

- ★は、記帳受付有り（ホームクラブ例会場）
- 鹿児島RC 7/22（金）新会員オリエンテーション（山形屋）
- 中央RC 8/1（月）会員増強フォーラム（山形屋）
- 東南RC 8/2（火）会員増強フォーラム（サロヤル）
- 城西RC 8/2（火）（ホテルクストン）
- 南RC 8/3（水）みんなで語ろう会I（サロヤル）
- 西RC 8/3（水）クラブ協議会（60周年記念事業）（山形屋）
- 西南RC 8/3（水）クラブ協議会（各委員会報告）（ゆうづき）
- 東RC 8/4（木）（ホテルクストン）
- 北RC 8/4（木）クラブ協議会①（年間活動計画・前年度決算報告）（アトホテル鹿児島）